

『しまの宝』

1学期を終えて…

7月20日は終業式でした。約4か月間、新型コロナウイルスの感染拡大防止に細心の注意を払いながらの、学校行事は例年と違った取組になりましたが、それぞれが充実した内容になりました。その一つに ICT 機器を使った授業や行事のリモート参加があります。遠く離れたしま留学生の実親さんに、子ども達の様子を見ていただく機会が増えました。職員は行事のたびに「リモートできますかね?」とお互いに聞くことが増えました。実親さんが自分を見ていると思うと、子ども達の張り切り方も違ってきます。挙手もいつも以上に頑張りますし、背筋もピンと伸びて、知識を吸収するアンテナはいつもより、感度良好です!

終業式前には、全校 PTA で水泳記録会を見させていただきました。あまり水泳が得意じゃないという子ども達もいる中で、これまでの授業の成果に加えて、「水球もどき」を元気に楽しむ様子に大変喜んでいただけたと思います。

しま留学生の中学生は、長崎県中学校総合体育大会(県中総体)が終了してから、帰省が始まりますが、小学生はほとんどが終業式の翌日に帰省します。保護者の皆様の期待に添うような成長が見られると、私たち職員も大変嬉しいです。久賀島の皆様には、温かく見守っていただき、ありがとうございます。9月にはまた元気に14名がお世話になります。よろしく願いいたします。



介護職ってどんな仕事?

中学生がキャリア教育の一環として、福江島のマリアの園から中里さん、只狩荘から山田さんを講師としてお招きして、お話をさせていただきました。キャリア教育とは、子ども達が学校の活動全体を通して、将来の「職業人」としての知識や経験を積み重ねる学習です。今回は、実際の介護職の仕事についてお話を聞き、体験をさせていただきました。人手不足と言われる介護の仕事は大変、と思いがちですが、お話を聞いていると、やりがいや楽しさを感じる仕事だということがわかりました。実際に車椅子や、介護者を介助する器具を使って介護職の経験もさせていただきました。車椅子を押す経験がない生徒は、「大変なあ」と声を漏らしながらも、やりがいを持てるという、マリアの園の中里さんの言葉を実感していました。



ダン先生とのお別れ

五島市の英語教育を10年、献身的に支えていただいていた、ALTのダニエル・コーエン先生(ダン先生)が、7月で五島市とお別れすることになりました。久賀小中学校にとっては、昨年度からの取組である CatchE(キャッチイー)に毎回面白く、そして熱心に取り組んでいただき、感謝しかありません。いつも久賀の子ども達のことを褒めてくださって、嬉しかったです。最後の授業になったこの日は、イングリッシュ・クッキングを行いました。「英語で調理」です。子ども達

は材料を英語で話したり、手順をダン先生に聞いたりして、楽しく過ごしました。ダン先生は10年前に五島に来たときは、ほとんど日本語が話せなかったそうです。それが今では、漢検2級を取得し、日本語に長けたALTです。漢字だけでなく、ことわざや日本の文化もたくさん知っていますが、そこにはダン先生のとゆまぬ努力があります。始業1時間前には出勤し(いつもは教育委員会にいらっやいます)、漢字帳にたくさん漢字を書いて練習しています。そして、耳に残った日本語で、興味がある言葉や、わからなかった言葉を携帯に残して、繰り返し覚えたり、お祭りや夕焼けマラソンにも参加したりして、人とのコミュニケーションを大事にしています。丁寧で流ちょうな日本語はこうした努力の賜です。そんなダン先生の姿は子ども達の刺激になりました。お別れするのはとても残念ですが、ダン先生がまた、五島に帰って来て、お祭りや夕焼けマラソンを楽しんでくれると嬉しいです。



平和集会を実施

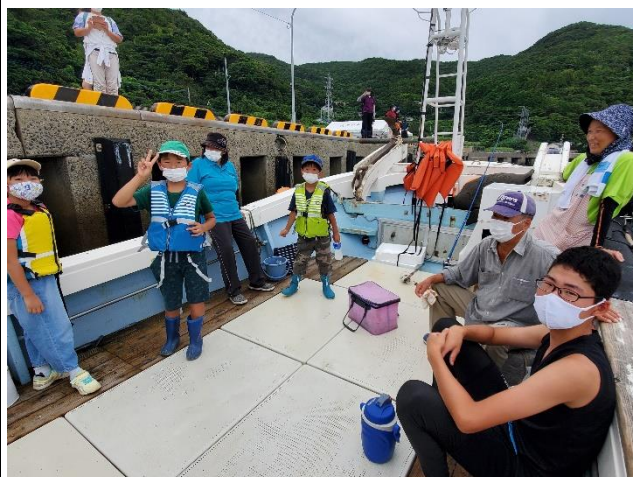
本来、8月の原爆投下日に合わせて長崎県下の小中学校では平和集会を行うために、夏季休業中ではありますが、平和祈念集会を行います。昨年本校でも、しま留学生が新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として帰省できなかったため、平和祈念集会をほぼ全員で経験しました。今年は、全員が帰省するため、集会を前倒しして行いました。子ども達は事前に平和学習を行い、それぞれ調べたことを発表しました。

平和について、戦争をしないことについて、子ども達が真剣に考えました。太平洋戦争が終わって76年。これからも、子ども達には戦争のない世の中を作っていこうと、思いを新たにしています。3年生の大櫛優樹さんは、地元に残りますが、8月9日には登校します。そして、平和を祈るとともに11時2分の黙祷を行います。

海の会が楽しかった!

夏休み前に、育成協やまちづくり協議会、学校が協力して、熱中症、食中毒、新型コロナ感染症の防止策を講じながら、夏恒例の「海の会」を行いました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったクルージングが2年ぶりに復活し、島を巡りながら魚釣りも行い子ども達は大喜びでした。

前日には、雨が心配され、昨年の方がよみがえり、職員も地域の方も大変心配しました。しかし、当日の朝は雲の切れ間に青空も見えはじめ、ほっとしました。地域の方々にはたくさんの差し入れをいただき、感謝いたします。飲み物やゼリーなどを当日では消化できないほど、たくさんいただきましたので、中学生には県中総体前の練習、小学生には終業式帰りに持たせたいと思います。ありがとうございました。



しま留学生は船釣り初体験でしたので「船酔いしないか」「船から落ちないか」心配しましたが、海の専門家がたくさん同船して子ども達の安全を見守りながら、船釣りを楽しませていただきました。子ども達の大きな体験として心に残る1日になりました。お世話になりました。

【子ども達の帰省のお知らせ】

中学生は県中総体終了後、小学生(1名は中学生と同日)は終業式の翌日から、感染防止の十分な指導と、帰島時のPCR検査等を徹底して行い、13名全員が帰省します。久賀島への帰島は8月20日~24日としています。保護者の皆様には、子ども達が久賀でたくましく育っている姿を見ていただき、9月からまた頑張ってきて、と背中を押してもらえようになりたいと思います。今のところ帰省する子ども達の地域には、緊急事態宣言は全て解除されています。(7月20日現在)